

はじめに

わが国では、平成 10 年以降、自殺者数は 3 万人前後で推移しており、毎年、交通事故による死者数の約 4 倍もの人が自殺によって命を落としています。さらに、自殺未遂は既遂の 10 倍以上ともいわれており、自殺や自殺未遂によって家族や友人など周囲の人々が受ける心理的影響を考慮すると、毎年、百数十万人の人々が自殺問題に苦しんでいることとなります。本戦略研究では、「自殺対策」を最終目標とし、医療モデルを超えた複合的な対策の立案を目指しております。

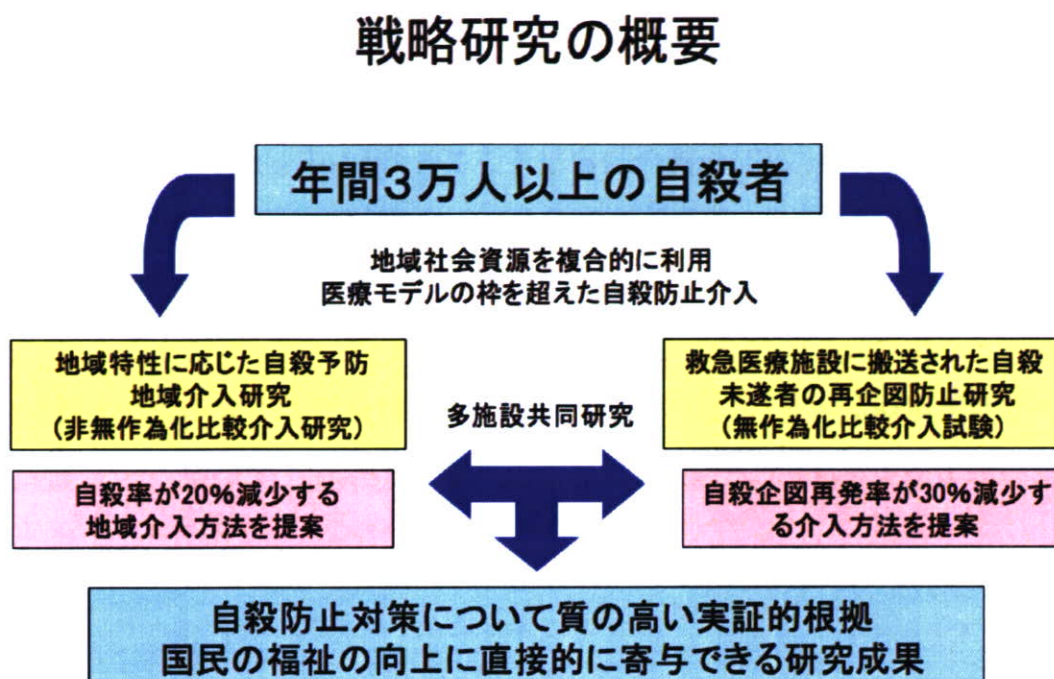
平成 18 年 6 月 15 日には我が国の自殺対策の要となる「自殺対策基本法」が成立し、同年 10 月 28 日に施行されました。本法の目的は、自殺対策を総合的に推進して、自殺の防止を図り、あわせて自殺者の親族等に対する支援の充実を図り、もって国民が健康で生きがいを持って暮らすことのできる社会の実現に寄与すること、とされております。また、平成 19 年 6 月 8 日には「自殺総合対策大綱」が閣議決定されました。

戦略研究では 2 つの試験研究「複合的自殺対策プログラムの自殺企図予防効果に関する地域介入研究(Nocomit-J)」「自殺企図の再発防止に対する複合的ケース・マネジメントの効果：多施設共同による無作為化比較研究(Action-J)」を実施しております。「自殺対策基本法」と「自殺総合対策大綱」を強固な足場として戦略研究を実施していくことにより、わが国で自殺対策を進めていく上での実証的根拠を提供していくことができると期待しております。

財団法人 精神・神経科学振興財団
理事長 高橋清久

1 研究の概要

(1) 説明図



(2) 背景と目的

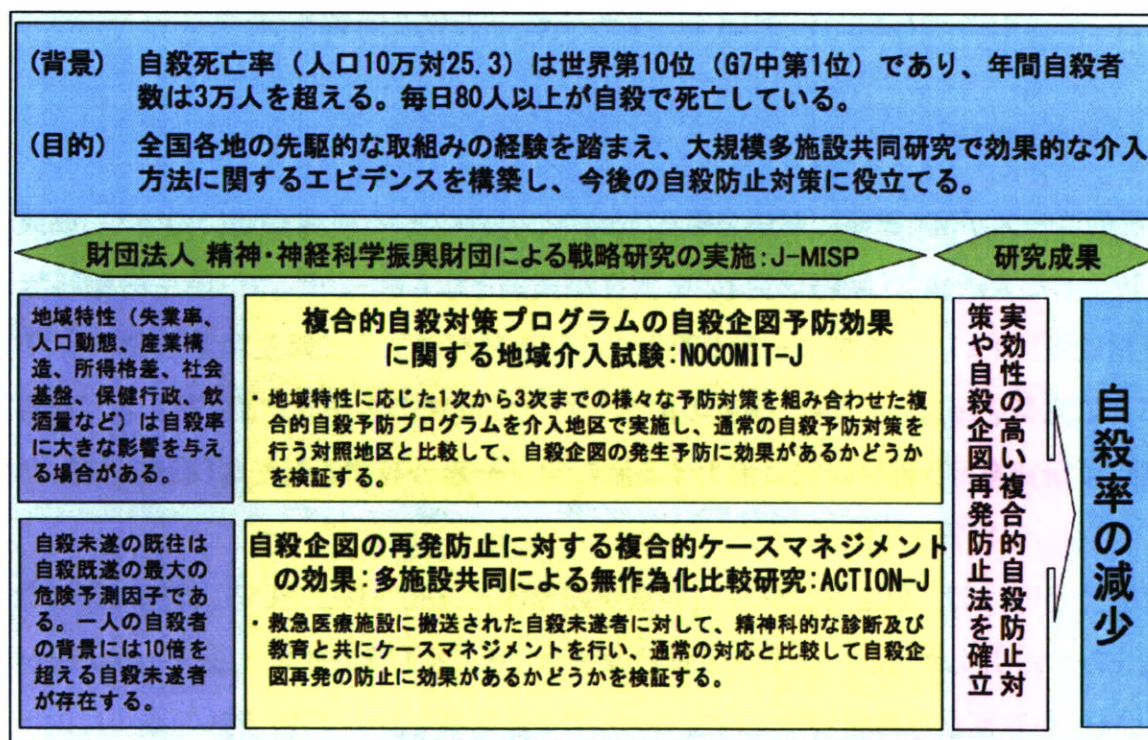
国民的ニーズが高く確実に解決を図ることが求められている研究課題について、成果目標を設定した大規模な「戦略研究」の必要性が指摘されてきた。そこで、厚生労働科学研究費補助金において、従来の一般公募による研究課題に加えて厚生科学審議会科学技術部会の意見を踏まえながら、研究の成果目標及び研究の方法を定め、選定された機関が実際に研究を行う者や研究に協力する施設等を一般公募する新たな「戦略研究」が平成17年度から創設された。

一方、わが国では1998年に年間自殺者が前年度比130%以上という、他国に類のない激増をみており、しかもこれ以降自殺者数は毎年3万人を超えたまま高止まりの状況が続いている。自殺死亡率は世界で10位、G7の中で最高率であり、自殺者数の減少に向けた取組が重要かつ緊急の課題である。2004年の性・年齢(5歳階級)別にみた死因順位では、男女共に10～64歳の世代で自殺が死因の第4位以内に位置している。全自殺に占める60歳以上の割合は1/3以上と高率であり、加速する高齢化社会の問題との兼ね合いでさらに老人の自殺問題が懸念される。また岡山、長崎、鹿児島県の一般住民を対象とした疫学調査では、過去12ヶ月間に自殺を真剣に考慮したのは1.5%であったと報告されている。

このような中で、自殺防止対策有識者懇談会は「自殺予防に向けての提言」を 2002 年に報告しており、社会全体として自殺に取り組むことが提言されている。このように、わが国の社会において自殺問題は極めて深刻な問題でありその対策は急務である。

そのため、全国各地の先駆的な取り組みの経験を踏まえ、大規模多施設共同研究で効果的な支援方法に関するエビデンスを構築して今後の政策立案に役立てることが必要である。具体的には、「地域特性に応じた複合的自殺予防プログラムの開発」「自殺企図者の再発防止策の開発」が必要であり、自殺者数の減少に向けた取組が重要かつ緊急の課題として必要と考えられた。そこで、「こころの健康科学研究事業戦略研究課題」の成果目標と研究内容が策定され、平成 17 年度から実施されることになった。本戦略研究の推進により、地域において利用可能な複合的自殺予防プログラム、自殺企図の再発防止法を確立し、我が国の自殺率の減少を目指した施策に大いに役立つものと期待している。

(3)進捗計画

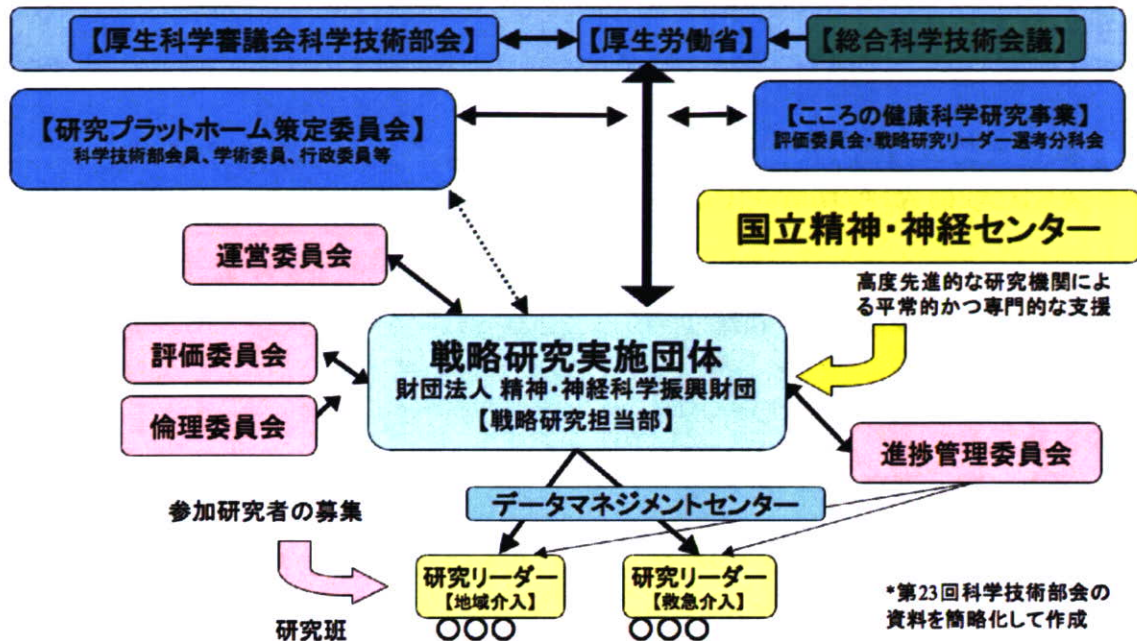


こころの健康科学研究事業「戦略研究課題」

2 研究の実施体制

(1) シェーマ

戦略研究の組織



(2) 戦略研究統括推進本部

戦略研究統括責任者のもと、戦略研究全体の円滑な運営のためのコーディネートを行う。戦略研究に関する研究集会の開催なども行い、参加地域からの問い合わせ等にも随時対応する。精神・神経科学振興財団に設置された戦略研究担当部は、研究運営に関する事務手続き全般を行う。

戦略研究統括責任者:

財団法人 精神・神経科学振興財団 理事長

高橋清久

運営管理:

国立精神・神経センター精神保健研究所 部長

山田光彦

〒187-8553 東京都小平市小川東町 4-1-1

TEL: 042-341-2711、FAX: 042-346-1994

E-mail: mitsu@ncnp-k.go.jp

事務担当:

財団法人 精神・神経科学振興財団 戦略研究担当部

〒187-8551 東京都小平市小川東町 4-1-1

TEL: 042-347-6210、FAX: 042-347-6211

E-mail: strategy@minos.ocn.ne.jp

(3)「複合的自殺対策プログラムの自殺企図予防効果に関する地域介入研究：Nocomit-J」(略称：地域介入研究)

戦略研究リーダー：

大野 裕 慶應義塾大学 教授

戦略研究サブリーダー：

酒井 明夫 岩手医科大学 教授

研究班事務局長：

大塚耕太郎 岩手医科大学 講師

(4)「自殺企図の再発防止に対する複合的ケース・マネージメントの効果：多施設共同による無作為化比較研究：Action-J」(略称：救急介入研究)

戦略研究リーダー：

平安 良雄 横浜市立大学 教授

戦略研究顧問：

有賀 徹 昭和大学 教授

研究班事務局長：

河西 千秋 横浜市立大学 准教授

(5)精神・神経科学振興財団により設置・運営される委員会とその役割

1)運営委員会

戦略研究の業務運営を審議し、戦略研究全体のコーディネートをする。

2)研究倫理委員会

戦略研究統括責任者の求めに応じて、研究計画についての確認を行う。中央倫理委員会及び独立データモニタリング委員会としての機能を有し、第三者の立場から研究の評価を行う。研究の継続が倫理的に問題となった場合は、研究計画の変更・中止を戦略研究統括責任者に勧告する。

3)研究評価委員会

戦略研究統括責任者の求めに応じて、戦略研究課題について、毎年提出された研究報告等に基づき第三者の立場から総合的に評価し、戦略研究統括責任者に報告する。

4)進捗管理委員会

戦略研究統括責任者の求めに応じて、研究計画の策定に協力する。研究班事務局と連携して研究の進捗を確認し、必要な対処を行う。進捗管理の立場から評価し、戦略研究統括責任者に報告する。

5)流動研究員選考委員会

戦略研究統括責任者の求めに応じて、流動研究員採用申請書を審査・選考すると共に、研究年度ごとに各流動研究員から提出された研究実績報告書等を参考にしながら、研究成果あるいは活動実績について評価し、戦略研究統括責任者に報告する。

(6)各委員会の責任者、委員、所属(以下アイウエオ順、○印:委員長)

1)運営委員会

岩砂 和雄	社団法人 日本医師会 副会長
○上田 茂	財団法人 日本医療機能評価機構 理事
遠藤 弘良	国立保健医療科学院 企画調整主幹
加我 牧子	国立精神・神経センター精神保健研究所 所長
黒澤 尚	日本総合病院精神医学会 理事長
鮫島 健	社団法人 日本精神科病院協会 会長
清水 新二	奈良女子大学 教授
高橋 祥友	防衛医科大学校 教授
藤井 充	厚生労働省 大臣官房厚生科学課長
関山 昌人	厚生労働省 医政局国立病院課長
金井 雅利	厚生労働省 労働基準局安全衛生部労働衛生課長
藤木 則夫	厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部企画課長
新村 和哉	厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課長
瀬上 清貴	国立精神・神経センター 運営局長

2)研究倫理委員会

香川 知晶	山梨大学 教授
○神庭 重信	九州大学 教授
高坂 新一	国立精神・神経センター神経研究所 所長
佐藤 俊哉	京都大学 教授
齋藤有紀子	北里大学 助教授
辻 伸行	上智大学 教授
成澤 光	国際基督教大学 教授
西原由記子	自殺防止センター東京 創設者
南 砂	読売新聞編集局解説部 次長
山内 慶太	慶應義塾大学 教授

3)研究評価委員会

天本 宏	社団法人 日本医師会 常任理事
浦田重治郎	国立精神・神経センター国府台病院 名誉院長
萱間 真美	聖路加看護大学 教授
佐藤 光源	東北福祉大学 教授
清水 康之	NPO 法人 自殺対策支援センター ライフリンク 代表
竹島 正	国立精神・神経センター精神保健研究所 部長
○樋口 輝彦	国立精神・神経センター 総長
山内 俊雄	埼玉医科大学 学長
藤井 充	厚生労働省 大臣官房厚生科学課長
関山 昌人	厚生労働省 医政局国立病院課長
金井 雅利	厚生労働省 労働基準局安全衛生部労働衛生課長
藤木 則夫	厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部企画課長
新村 和哉	厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課長

4)進捗管理委員会

- 浦島 充佳 東京慈恵会医科大学 准教授
- 川上 憲人 東京大学 教授
- 新保 卓郎 国立国際医療センター研究所 部長
- 藤田 利治 統計数理研究所 教授
- 堀口 逸子 順天堂大学 助教

5)流動研究員選考委員会

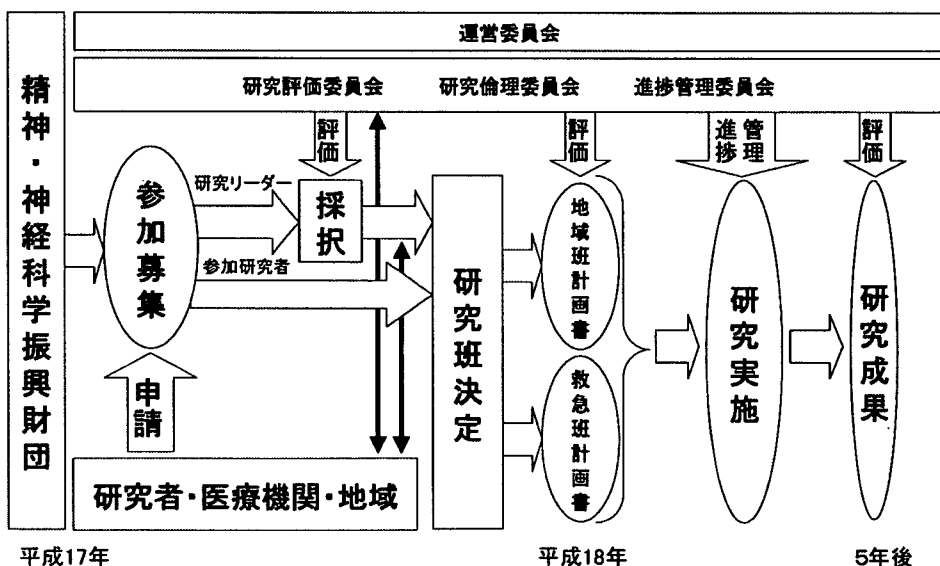
- 尾崎 紀夫 名古屋大学 教授
- 功刀 浩 国立精神・神経センター神経研究所 部長
- 長谷川雅美 金沢大学 教授
- 吉川 和男 国立精神・神経センター精神保健研究所 部長

3 研究の進捗経過

(1)戦略研究実施に至る経緯

1. 平成 16 年度厚生労働科学特別研究(戦略研究の成果目標と研究内容を策定)
主任研究者:黒川 清(戦略研究の枠組み)
主任研究者:樋口輝彦(こころの健康科学研究事業)
2. 厚生科学審議会科学技術部会で承認(平成 17 年 3 月 18 日)
3. 厚生科学審議会科学技術部会で戦略研究実施団体として財団法人精神・神経科学振興財団が承認(平成 17 年 6 月 23 日)
4. 戦略研究課題全体に関するシンポジウム(平成 17 年 7 月 15 日)
財団法人 長寿科学振興財団により開催
5. 交付基準額通知書の発行/受理(平成 17 年 8 月 23 日)

(2)研究実施工程表



(3)戦略研究統括推進本部による活動

1. 戦略研究ホームページ公開(平成 17 年 8 月 23 日)
参加研究者募集開始(平成 17 年 8 月 23 日)
募集期間(平成 17 年 9 月 1 日~15 日)
2. 戦略研究シンポジウム・公募説明会開催(平成 17 年 9 月 7 日)
会場:財団法人 がん研究振興財団 国際研究交流会館 国際会議場
3. 戦略研究リーダー決定(平成 17 年 10 月 25 日)
こころの健康科学研究事業戦略研究リーダー選考分科会
4. 運営委員会の運営
第 1 回運営委員会開催(平成 17 年 10 月 27 日)
第 2 回運営委員会開催(平成 18 年 3 月 1 日)
第 3 回運営委員会開催(平成 19 年 2 月 7 日)
第 4 回運営委員会開催(平成 19 年 7 月 11 日)
第 5 回運営委員会開催(平成 20 年 1 月 28 日)
5. 研究評価委員会の運営
第 1 回研究評価委員会開催(平成 17 年 11 月 1 日)
第 2 回研究評価委員会開催(平成 18 年 1 月 30 日)
第 3 回研究評価委員会開催(平成 18 年 2 月 27 日)
第 4 回研究評価委員会/関連重点課題進捗報告会開催(平成 18 年 6 月 28 日)
第 5 回研究評価委員会開催(平成 19 年 6 月 14 日)
6. 研究倫理委員会の運営
第 1 回研究倫理委員会開催(平成 18 年 2 月 13 日)
第 2 回研究倫理委員会開催(平成 18 年 6 月 2 日)
・救急介入研究(Action-J)研究計画書承認(平成 18 年 6 月 22 日)
・地域介入研究(Nocomit-J)研究計画書承認(平成 18 年 7 月 10 日)
・研究倫理委員会規程改正(平成 18 年 11 月 1 日)
・運営細則策定(平成 18 年 11 月 1 日)
第 3 回研究倫理委員会開催(平成 19 年 6 月 23 日)
7. 進捗管理委員会の運営
第 1 回進捗管理委員会開催(平成 18 年 3 月 1 日)
第 2 回進捗管理委員会開催(平成 19 年 2 月 7 日)
第 3 回進捗管理委員会開催(平成 20 年 1 月 28 日)
8. 流動研究員選考委員会の運営
第 1 回流動研究員選考委員会開催(平成 17 年 12 月 22 日)
・流動研究員雇用開始(平成 18 年 1 月 1 日)
第 2 回流動研究員選考委員会開催(平成 18 年 1 月 13 日)
第 3 回流動研究員選考委員会開催(平成 18 年 3 月 6 日)

- 第4回流動研究員選考委員会開催(平成18年3月13日)
- 第5回流動研究員選考委員会開催(平成18年3月30日)
- 第6回流動研究員選考委員会開催(平成18年5月12日)
- 第7回流動研究員選考委員会開催(平成18年7月24日)
- 第8回流動研究員選考委員会開催(平成19年3月8日)
- 第9回流動研究員選考委員会開催(平成19年6月8日)
- 第10回流動研究員選考委員会開催(平成19年7月18日)
- 第11回流動研究員選考委員会開催(平成19年12月5日)
- 第12回流動研究員選考委員会開催(平成19年12月14日)
- 第13回流動研究員選考委員会開催(平成20年1月21日)
- 第14回流動研究員選考委員会開催(平成20年1月29日)
- 第15回流動研究員選考委員会開催(平成20年3月4日)
- 第16回流動研究員選考委員会開催(平成20年3月6日)

(4)地域介入研究班:Nocomit-J

- 1. 第1回地域介入課題研究会議・全体(平成17年11月30日)
- 2. 第2回地域介入課題研究会議・中核(平成17年12月25日)
- 3. 第3回地域介入課題研究会議・全体(平成18年1月14日)
- 4. 地域介入課題プロトコルWG(平成18年1月18日)
- 5. 地域介入課題プロトコルWG(平成18年3月22日)
- 6. 地域介入課題プロトコルWG(平成18年3月29日)
- 7. 地域介入課題プロトコルWG(平成18年4月5日)
- 8. 地域介入課題プロトコルWG(平成18年4月12日)
- 9. 地域介入課題プロトコルWG(平成18年4月25日)
- 10. 第4回地域介入課題研究会議・全体(平成18年4月29日)
- 11. 地域介入課題プロトコルWG(平成18年5月23日)
- 12. 関連重点課題報告会(平成18年6月28日)
- 13. 研究倫理委員会によるプロトコルの承認(平成18年7月10日)
- 14. 第3回日本うつ病学会シンポジウム(平成18年7月28日)
- 15. 臨床試験登録/UMIN-CTR(平成18年8月1日)
- 16. プロトコル英訳WG(平成18年8月9日)
- 17. データマネジメント実務者WG(平成18年8月16日)
- 18. 第11回欧州自殺・自殺行動学会(平成18年9月9-12日)
- 19. データマネジメント実務者WG(平成18年9月22日)
- 20. 情報公開のための合同意見交換会(平成18年11月27日)
- 21. プロトコル英訳WG(平成18年11月29日)
- 22. 第5回地域介入課題研究会議(平成19年1月7日)
- 23. データ収集/目的外使用申請手続きのためのWG(平成19年1月11日)
- 24. 第5回地域介入課題研究会議・全体(平成19年2月3日)
- 25. 黒川特別研究班によるモニタリング(平成19年3月2日)
- 26. 日本社会精神医学会シンポジウム(平成19年3月22-23日)
- 27. 研究会議実務者によるWG(平成19年4月16日)
- 28. 世界精神医学会ソウル大会(平成19年4月18-21日)
- 29. 日本自殺予防学会(平成19年4月23-24日)

30. 日本精神神経学会(平成 19 年 5 月 17-19)
31. データマネジメント実務者 WG(平成 19 年 5 月 28 日)
32. 研究班実務者による WG(平成 19 年 6 月 6 日)
33. 研究班実務者による WG(平成 19 年 7 月 11 日)
34. 研究班実務者による WG(平成 19 年 7 月 13 日)
35. 地域介入実務者研修会(平成 19 年 7 月 26 日-27 日)
36. 国際自殺予防学会 IASP2007(平成 19 年 8 月 28 日-9 月 1 日)
37. プロトコル英訳 WG(平成 19 年 9 月 13 日)
38. 国際自殺予防学会 IASP2007(平成 19 年 9 月 20 日-23 日)
39. 地域介入実務者研修会(平成 19 年 11 月 8 日-9 日)
40. 自殺白書閣議決定(平成 19 年 11 月 9 日)
41. データ収集/目的外使用申請手続きのための WG(平成 19 年 12 月 5 日)
42. 第 6 回地域介入課題研究班会議・全体(平成 20 年 1 月 14 日)
43. 統括推進本部・研究班 WG(平成 20 年 1 月 25 日)
44. 戦略研究企画・調査専門検討会/モニタリング調査(平成 20 年 2 月 13 日)
45. 日本社会精神医学会(平成 20 年 2 月 28 日-29 日)

(5)救急介入研究班:Action-J

1. 第 1 回救急介入課題研究班会議・全体(平成 17 年 12 月 5 日)
2. 第 2 回救急介入課題研究班会議・中核(平成 17 年 12 月 16 日)
3. 第 3 回救急介入課題研究班会議・全体(平成 17 年 12 月 17 日)
4. 第 4 回救急介入課題研究班会議・全体(平成 18 年 1 月 14 日)
5. 救急介入課題プロトコル WG(平成 18 年 1 月 23 日)
6. 第 5 回救急介入課題研究班会議・全体(平成 18 年 3 月 18 日)
7. 第 6 回救急介入課題研究班会議・全体(平成 18 年 3 月 19 日)
8. 救急介入課題プロトコル WG(平成 18 年 4 月 11 日)
9. 救急介入課題プロトコル WG(平成 18 年 4 月 27 日)
10. 救急介入課題プロトコル WG(平成 18 年 5 月 25 日)
11. 第 7 回救急介入課題研究班会議・全体(平成 18 年 6 月 3 日)
12. 参加研究施設訪問開始(平成 18 年 6 月 14 日)
13. 研究倫理委員会によるプロトコルの承認(平成 18 年 6 月 22 日)
14. データレジストリーシステム稼働開始(平成 18 年 6 月 27 日)
15. 関連重点課題進捗報告会(平成 18 年 6 月 28 日)
16. 臨床試験登録/UMIN-CTR(平成 18 年 7 月 4 日)
17. データマネジメント実務者 WG(平成 18 年 7 月 7 日)
18. 第 3 回日本うつ病学会シンポジウム(平成 18 年 7 月 28 日)
19. 参加施設訪問(施設基準調査)終了(平成 18 年 8 月 2 日)
20. プロトコル英訳 WG(平成 18 年 8 月 9 日)
21. 第 11 回欧州自殺・自殺行動学会(平成 18 年 9 月 9-12 日)
22. 第 8 回救急介入課題研究班会議・全体(平成 18 年 9 月 30 日)
23. 研究班実務者 WG(平成 18 年 11 月 14 日)
24. 情報公開のための合同意見交換会(平成 18 年 11 月 27 日)
25. 介入プログラム委員会(平成 18 年 12 月 9 日)
26. 関西地区研修会(平成 19 年 1 月 19 日)

27. ケースマネージャー研修会(平成 19 年 1 月 20 日)
28. 第 9 回救急介入課題研究会議・全体(平成 19 年 2 月 3 日)
29. 黒川特別研究班によるモニタリング(平成 19 年 3 月 2 日)
30. 日本社会精神医学会シンポジウム(平成 19 年 3 月 22-23 日)
31. プロトコール英訳 WG(平成 19 年 4 月 5 日)
32. プロトコール英訳 WG(平成 19 年 4 月 10 日)
33. 世界精神医学会ソウル大会(平成 19 年 4 月 18-21 日)
34. 日本自殺予防学会(平成 19 年 4 月 23-24 日)
35. 日本精神神経学会(平成 19 年 5 月 17-19)
36. 第 10 回救急介入課題研究会議(平成 19 年 5 月 26 日)
37. ケースマネージャー研修会(平成 19 年 5 月 26 日)
38. プロトコール英訳 WG(平成 19 年 6 月 12 日)
39. ケースマネージャー研修会(平成 19 年 6 月 16 日)
40. 研究班実務者による WG(平成 19 年 6 月 19 日)
41. 研究班実務者による WG(平成 19 年 7 月 13 日)
42. 研究班実務者による WG(平成 19 年 7 月 24 日)
43. 日本中毒学会(平成 19 年 7 月 27 日—28 日)
44. 参加施設追加のための施設訪問:藤田保健衛生大学(平成 19 年 8 月 13 日)
45. 国際自殺予防学会 IASP2007(平成 19 年 8 月 28 日—9 月 1 日)
46. 研究班実務者による WG(平成 19 年 9 月 7 日)
47. イベント判定についての WG(平成 19 年 9 月 7 日)
48. プロトコール英訳 WG(平成 19 年 9 月 13 日)
49. 参加施設追加公募開始(平成 19 年 9 月 18 日)
50. イベント判定委員会(平成 19 年 10 月 6 日)
51. ケースマネージャー研修会(平成 19 年 10 月 13 日)
52. 研究班実務者による WG(平成 19 年 10 月 19 日)
53. ケースマネージャー追加公募開始(平成 19 年 11 月 1 日)
54. 第 1 回一斉調査実施(平成 19 年 11 月 5 日—12 月 21 日)
55. 自殺白書閣議決定(平成 19 年 11 月 9 日)
56. 参加施設追加のための施設訪問:福岡大学(平成 19 年 12 月 7 日)
57. ケースマネージャー研修会(平成 19 年 12 月 15 日)
58. 参加施設追加のための施設訪問:藤田保健衛生大学(平成 19 年 12 月 18 日)
59. 参加施設追加のための施設訪問:筑波 MC(平成 19 年 12 月 26 日)
60. 統括推進本部・研究班 WG(平成 20 年 1 月 25 日)
61. イベント判定委員会(平成 20 年 1 月 25 日)
62. 研究班実務者による WG(平成 20 年 2 月 2 日)
63. 第 11 回救急介入課題研究会議(平成 20 年 2 月 2 日)
64. ケースマネージャー研修会(平成 20 年 2 月 9 日)
65. 戦略研究企画・調査専門検討会/モニタリング調査(平成 20 年 2 月 13 日)
66. 日本社会精神医学会(平成 20 年 2 月 28 日—29 日)
67. 研究班実務者による WG(平成 20 年 3 月 7 日)
68. イベント判定委員会(平成 20 年 3 月 22 日)
69. ケースマネージャー研修会(平成 20 年 3 月 22 日)